



校長室より



令和7年 3月14日

No.35

自分らしく生きる 豊かに生きる

一学部高等部卒業生の皆さん 二学部小学部・中学部卒業生の皆さん

ご卒業おめでとうございます

日差しにやわらかさが増し、松林に吹く風が春の訪れを知らせてくれています。

3月14日（金）午前、二学部小学部・中学部（通学生）の卒業式、午後から、一学部高等部（和歌山病院入院生）の卒業式が実施されました。

午前中に行われた二学部小学部中学部卒業式では、小学部6年生が1名、中学部3年生が5名、緊張した面持ちで卒業証書を受け取ってもらいました。私の式辞の中で、自分たちで考え、自分の役割に責任を持ち、興味を広げていくことを、これからもマイペースで進めてほしいと伝えさせていただきました。中学部卒業生の1名は県立高校へ進路を変更して新しいスタートを切ります。それぞれのステージでは、新しい仲間たちも加わり、新たなチャレンジをたくさん見せてくれると信じています。

午後からの一学部高等部卒業式には、病院関係者も多く参列していただき、体育館で行われました。PTA会長様には午後も参列いただきました。一学部在校生も一堂に全員そろって先輩の卒業を見送ることができました。卒業生3名、本校に在籍した期間は違えども、仲間として一緒に活動してきました。コロナ禍で多くの制限を受け、本校に登校することもままならず、家族との面会は短時間になり、寂しい思いをしてみました。その中で、先生達との関係性を軸に、五感を高めながら、自分の思いを様々な表情や体の動きで伝えてくれました。瞬間に見せてくれる輝きを私たちは決して忘れません。卒業しても周りを元気にしてくれる存在でいてほしいと思います。

午前の卒業式では門出の歌として、レミオロメンの「3月9日」を歌いました。

「瞳を閉じればあなたが まぶたのうらにいて」という歌詞があります。親しい友達や先生がいてくれてよかったなぁと想う気持ちをいつまでも大切にしてほしいと思います。午後の卒業式では、一学部でよく歌われ、みんなが大好きな曲でもある「にじ」を歌いました。「～明日はきっといい天気～」と前向きになれる歌詞がいいですね。卒業生たちが晴れやかな毎日を送れることを願っています。

